



# 最北ねっと

THE MOTTOMO-KITA NET

**稚内海上保安部**  
 〒097-0023 稚内市開運2丁目2番1号  
 TEL 0162-22-0118  
 FAX 0162-29-2007  
 e-mail [wakkanai-kanri@kaiho.mlit.go.jp](mailto:wakkanai-kanri@kaiho.mlit.go.jp)  
 ホームページアドレス  
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/01kanku/wakkanai/>

## さいほくの真冬の海・願いは安全な航海！！

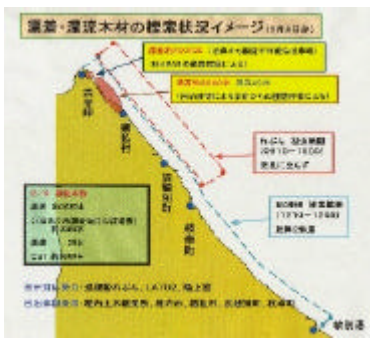
FM わっぴー「ようこそ稚内」  
 2/18 と 2/25 聞いてネ！

### カンボジア籍木材運搬船が荷崩れ、木材流出



小樽海保撮影の木材運搬船「SOYANA」

2月5日(木)午後7時ころ、稚内海保に『カンボジア籍木材運搬船 SOYANA (1,798ト、ロシア人、17人乗組)が、サハリン州クラスノゴルスクから室蘭向け航行中の同日午後5時30分ころ、宗谷岬の北西約13km 付近海上で、荒天による荷崩れのため木材(推定流出量約6000本、長さ約3.5m、直径約10~15cm)を流出した』旨の通報があった。稚内海保では、流出木材が宗谷沿岸～オホーツク海沿岸海域に漂着・漂流する可能性があることから沿岸自治体や漁協など関係機関に情報を提供し、船舶への注意喚起など航行船舶の安全を確保するとともに同海保に派遣中の紋別海保所属の巡視船そらちを状況調査のため現場向け急行させた。



知床岬沖に漂流した木材

6日日出～8日の間、沿岸自治体など関係機関、稚内海保職員、巡視船そらや・れぶん及び千歳航空基地所属固定翼機・そらや搭載回転翼機などによる沿岸調査の結果、宗谷岬の東岸・目梨川河口～猿払村浜鬼志別付近海岸に漂着・漂流していた木材は約5600本であった。

S号は、6日小樽港に入港着岸した。小樽海保は、12日同船船長 Gontov Vladimir Geogievich を「業務上過失往来危険」の容疑で札幌地検小樽支部に書類送致した。

### 巡視船れぶん女子海上保安官、1年の航跡！



昨年4月、巡視船れぶん通信士補に発令



昨年3月、巡視船れぶん主計士補に発令

小野官は、海保大での語学研修(露語)を経て乗船。国際捜査官としても活躍。

成田官は、海保校での船舶運航システム課程・主計コースを経て乗船。



外国船への立入検査や海難防止活動などで活躍中。



救命衣着用実態調査など現場に赴き訪船指導中。



海洋環境保全啓発活動として、稚内市など幼稚園児を対象に「環境紙芝居」を実演中。



2月、オホーツク海に迫り出した流水観測の後、穏やかな海でツーショット。

### 外国船の自主退去処分相次ぐ！

1月の統計によると、稚内海保が発見、水産庁が漁船と認定し自主退去処分の外国船は7隻に及んだ。昨年1年間、同様に自主退去処分の外国船は16隻であった。